

スポーツで知る 子どもの声

2025. 11.15 SAT

いろいろなスポーツを
やってみたい

自分にあった
スポーツは何だろう



子どもの時期に様々な運動遊びやスポーツを体験し、1つでも自分の「やりたい」を見つけることは、子どもの成長にとってとても大切です。

子どもの「やりたい」に寄り添った「マルチスポーツ」の取組について、海外の事例を学び、身近な生活の中でどのように取り入れることができるのかを考えます。



日時: 令和7年11月15日(土)
午後2時～3時30分(90分)

会場: 産業商工会館 展示室
杉並区阿佐谷南3-2-19

講師: 大山 高
筑波大学体育系教授、博士(スポーツ科学)
筑波大学体育スポーツ局スポーツアドミニストレーション部門長

対象: 杉並区在住・在勤・在学の15歳以上の方
(中学生を除く)

参加費: 500円 定員: 30名(申込順)

申込方法: 杉並区スポーツ振興財団
「ご予約」サイトから9月15日(月・祝)～11月6日(木)
<https://sports-suginami.resv.jp/>



講師プロフィール 小学生時代は野球を「する」「みる」に没頭した日々を過ごす。中学校では部活の長時間練習や上下関係に違和感を感じ、野球に前向きに取り組めなかった矢先、中学3年生で突如ニュージーランド(NZ)へ移住。NZの現地校にて、季節ごとにスポーツを変える「シーズン制の部活動システム」を初めて経験し、サッカー、バスケ、テニス、卓球、バレーボールのチームに所属。様々なスポーツ体験やコミュニティ経験を与える環境に衝撃を受け、それが現在のマルチスポーツ研究の原点となった。現在は自身が得たNZでの運動部活動(シーズン制)の経験をベースにマルチスポーツ教育政策研究に取り組む。著書に「マルチスポーツを科学する(青娥書房)」他